

## XL 都市と多島海

■ 瀬戸内の神戸

神戸5SCALE × 時間

## L × 現代 文化復興と景観

■ アートと文化復興

神戸ミュージアムロード 美かえるカラフルプロジェクト (KII+O: HP)

美かえる 1. カラーを抽出 2. カラーパターン 3. 街へと展開

震災を経て、MRでは文化復興をテーマとし、兵庫県立美術館の設立や美かえるを象徴とした「美かえるカラフルプロジェクト」によるMR活性化などまちづくりが進む

## 神戸市都市景観計画

歴史的地区 公園緑地

「MR+」軸を追加

神戸ブルー

鉄を主成分とする顔料

造船の文化と海から“青”が想起される

河川軸 道路軸

遠景 中景 近景

ランドマーク

視対象と視点場によるマスタープラン

配置図 1/10000

0 1 3 5 10km

Node 動物園前  
Node 高架下  
Node JR 灘駅  
Node 阪神岩屋駅前  
Node HAT 神戸

歩車道分離

歩道 車道 歩道

通信 下水 上水 ガス 電気

地上機器

歩車道融合

歩道 車道 歩道

通信 下水 上水 ガス 電気

地上機器

シェアードスペース (歩車道融合)

## 神戸 7COLORS

Green Blue

山側のGreenから海側のBlueへとグラデーションに変化していく  
GreenからBlueへ移ろう過程の色域に美かえるカラーパターンを用いている

シェアードスペース断面図

通信 下水 上水 ガス 電気

+Node 動物園前

+Node 高架下

+Node 動物園前

+Node 高架下

アートパーク

シェアードスペース

Type5 作業用コンテナ

桜並木

駐輪場

灘駅北口広場

JR灘駅

構内コンコース

出札

駅事務室

WC

EV

Long Vista

シェアードロータリー

タクシー待機場

王子動物園

王子神社

兵庫県立美術館王子分館 (原田の森ギャラリー・横尾忠則現代美術館)

桜並木

JR灘駅前北側広場 だんじりを引き込む

JR灘駅

阪急高架下 AIR 作業場コンテナの設置

シェアードスペース

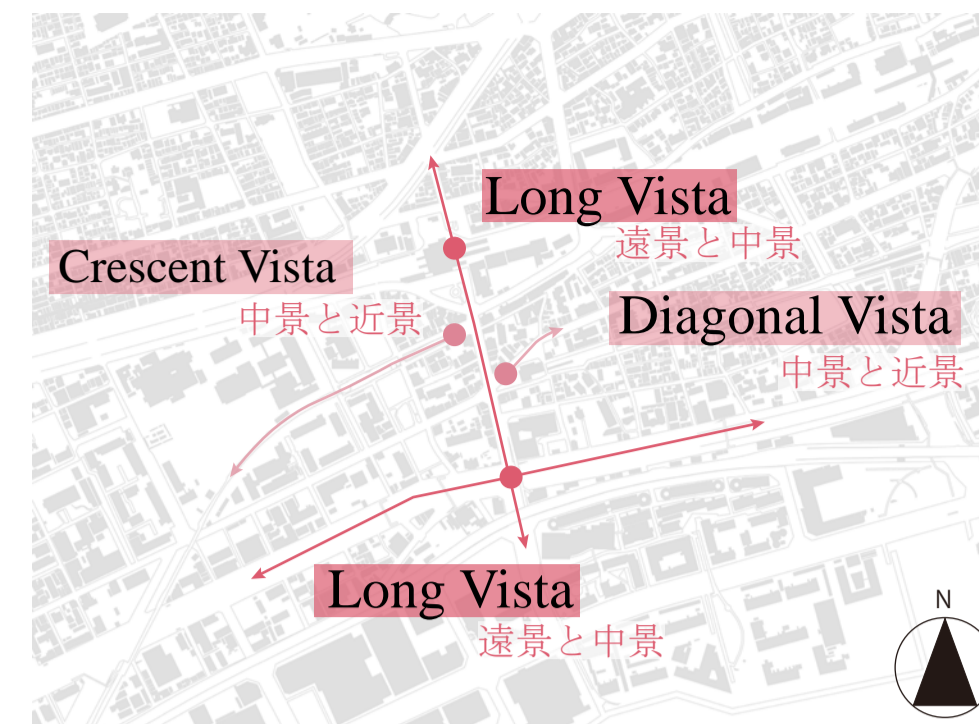
① 5月イベント: だんじりミュージアムロード練り歩き

南北断面図 1/1000

0 100 300 500 1,000m

景観

MRの3つのビスタ



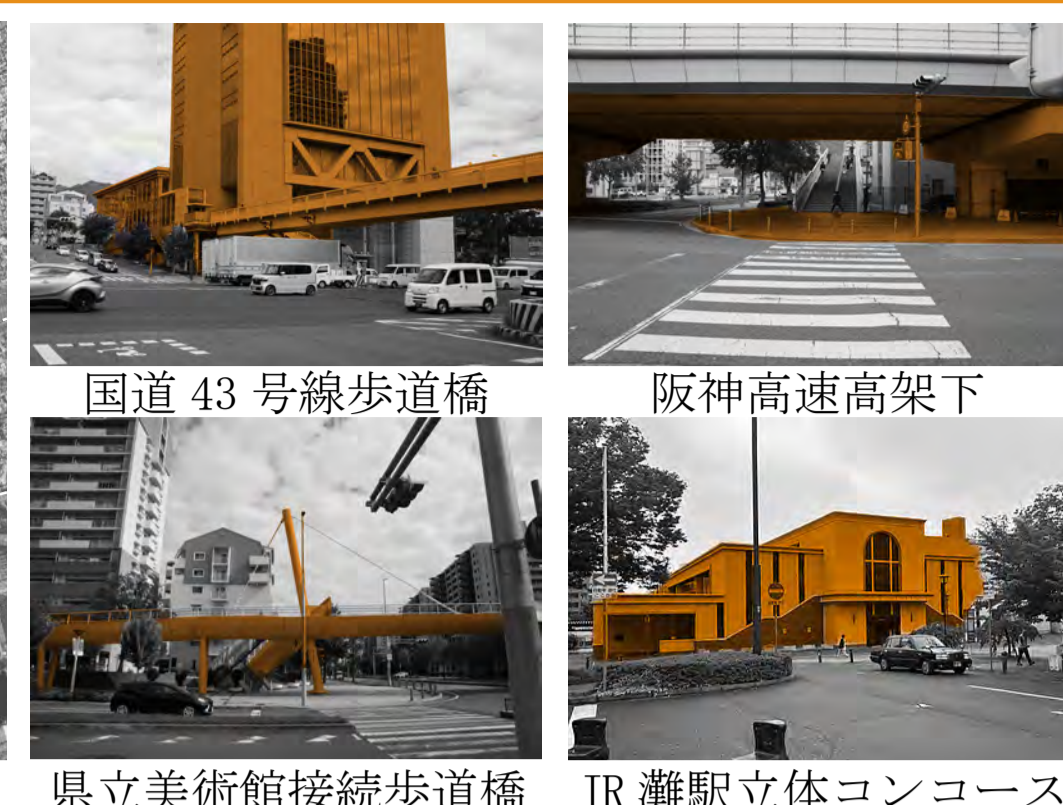
M × 昭和まちを分断する交通

震災前の神戸

大正から昭和にかけて最盛期を迎えた臨港線は時代が鉄道からトラック輸送へ移行したにより、臨港線は廃止され国道43号線や阪神高速をはじめとする道路を中心としたまちの構造に変化していった

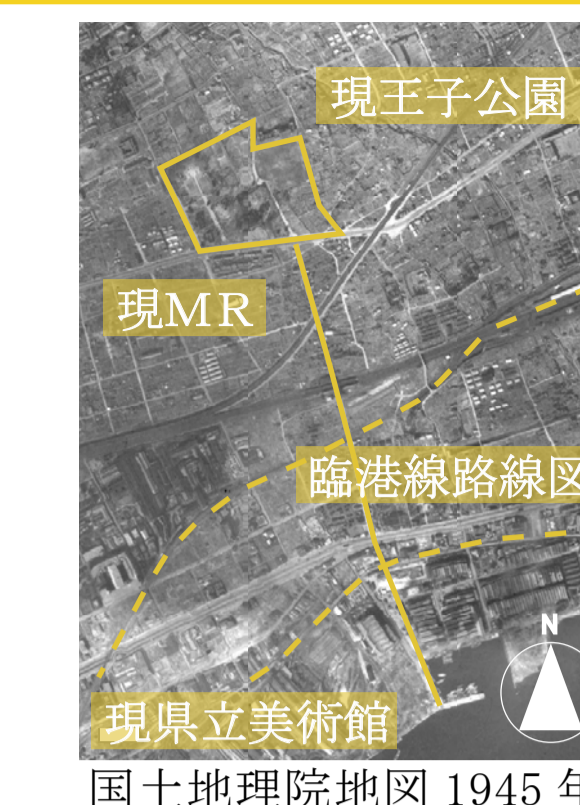


M 空中接続

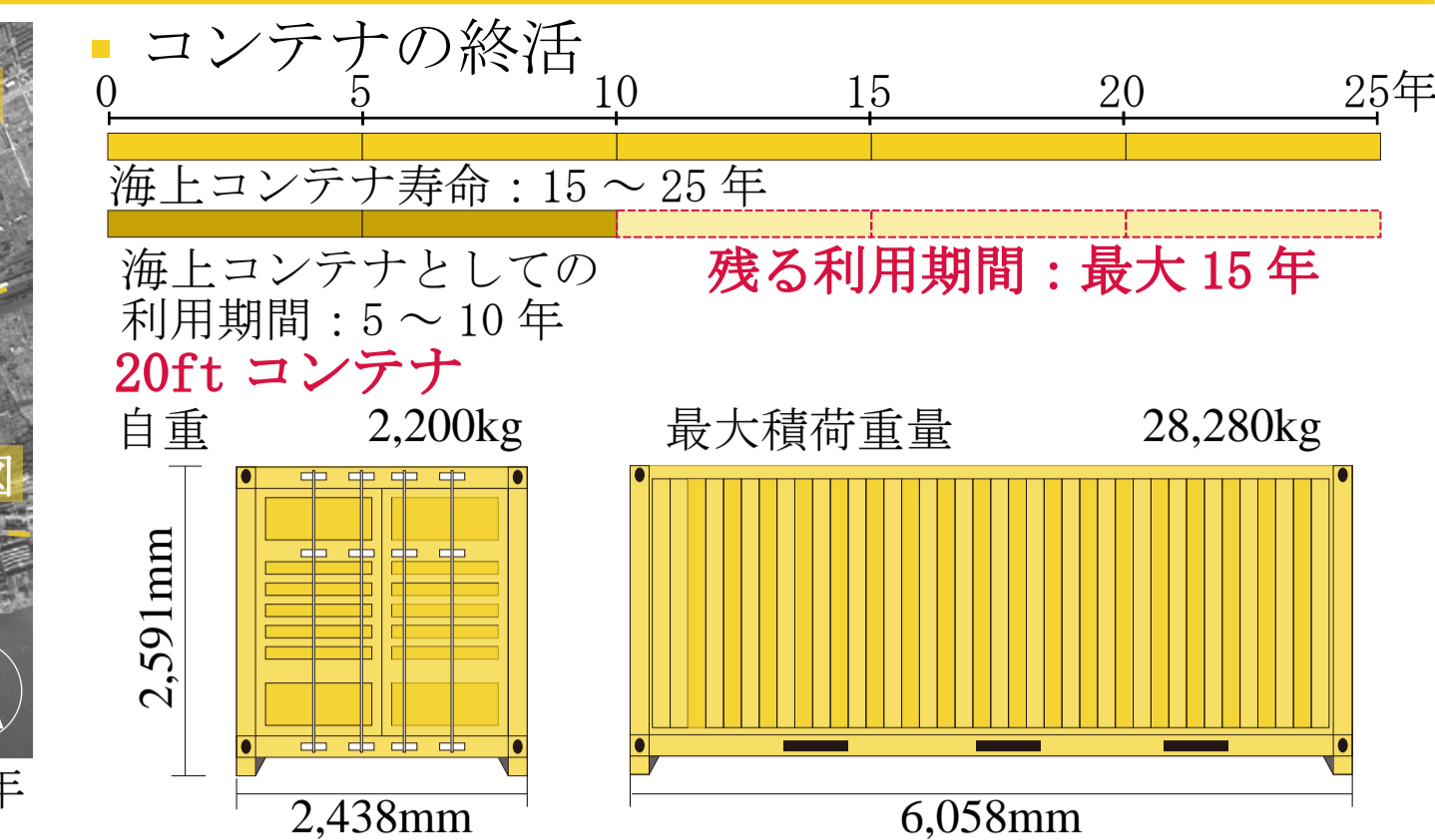


S × 近代コンテナが行き交う街

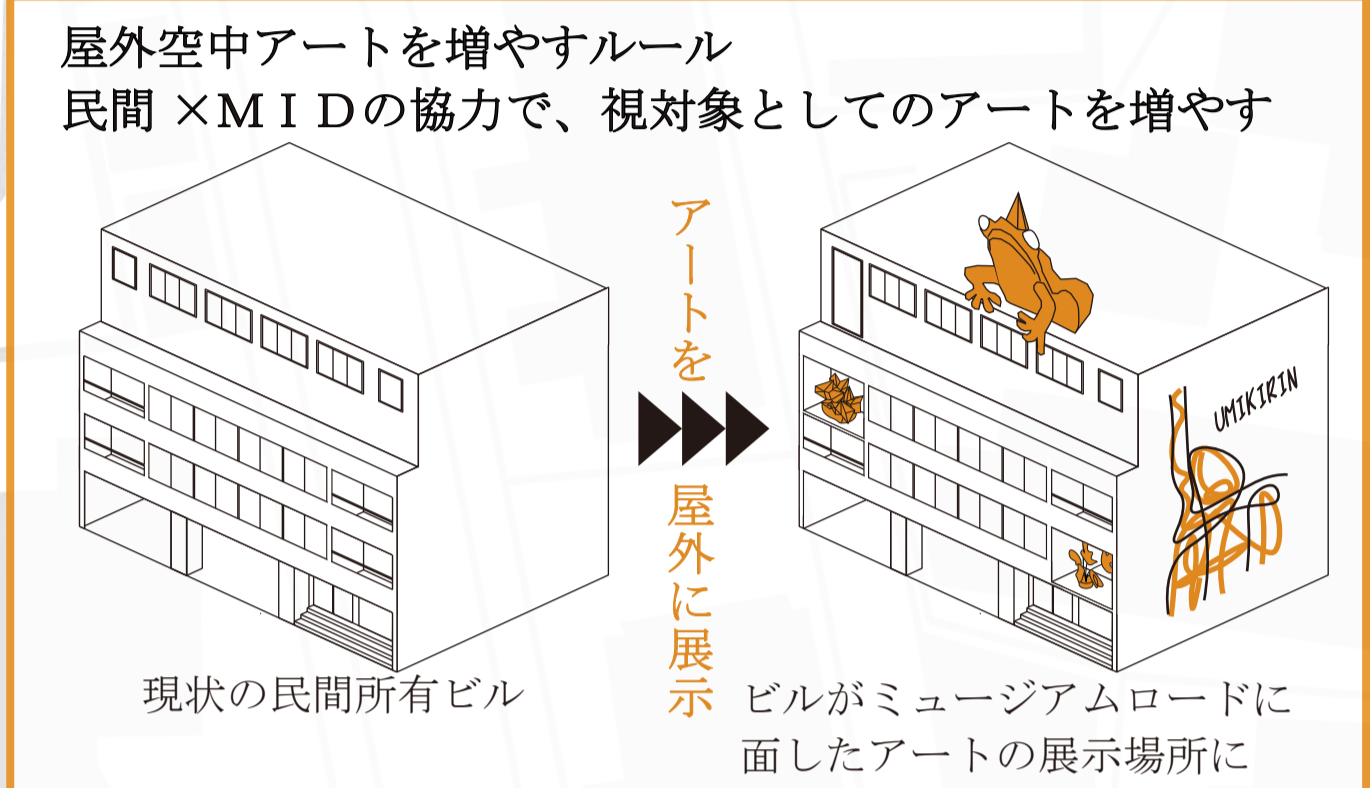
造船のまち  
港湾施設として敷設された鉄道は港で荷揚げした貨物を運搬し、ミュージアムロード (MR) の先に造船場があり、コンテナが行き交う海運のまちであった



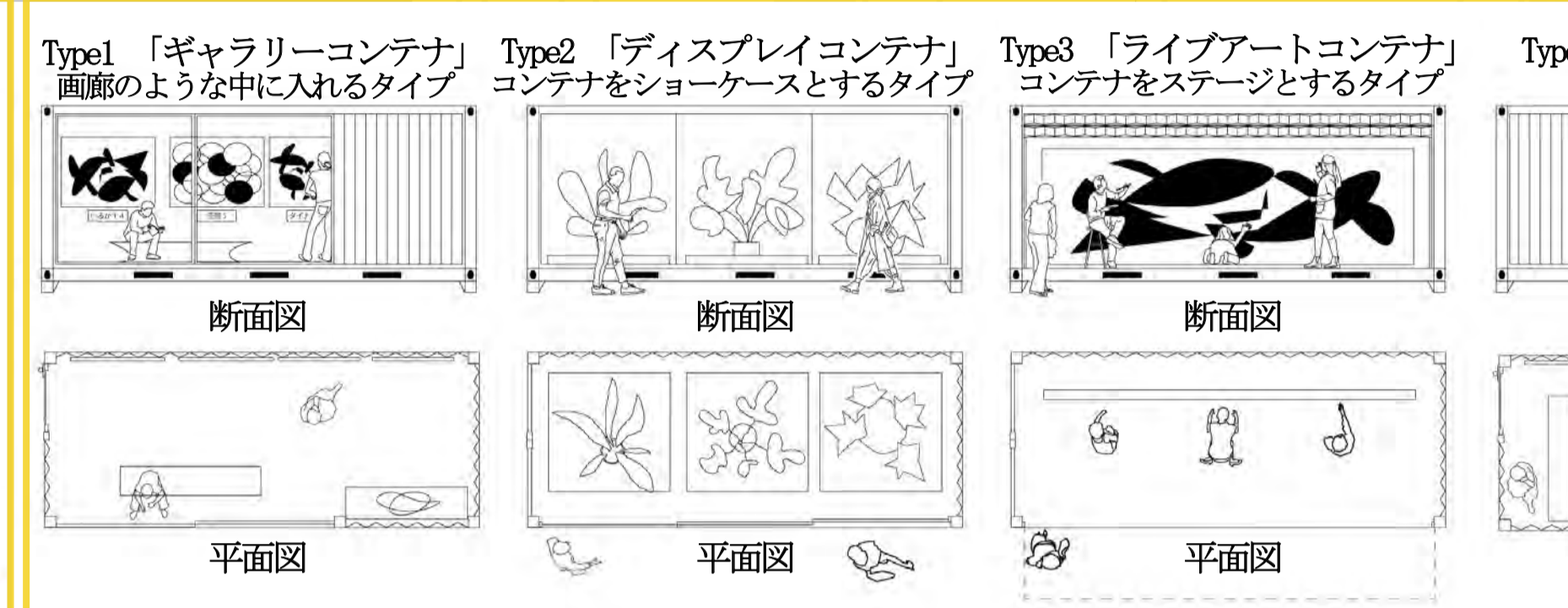
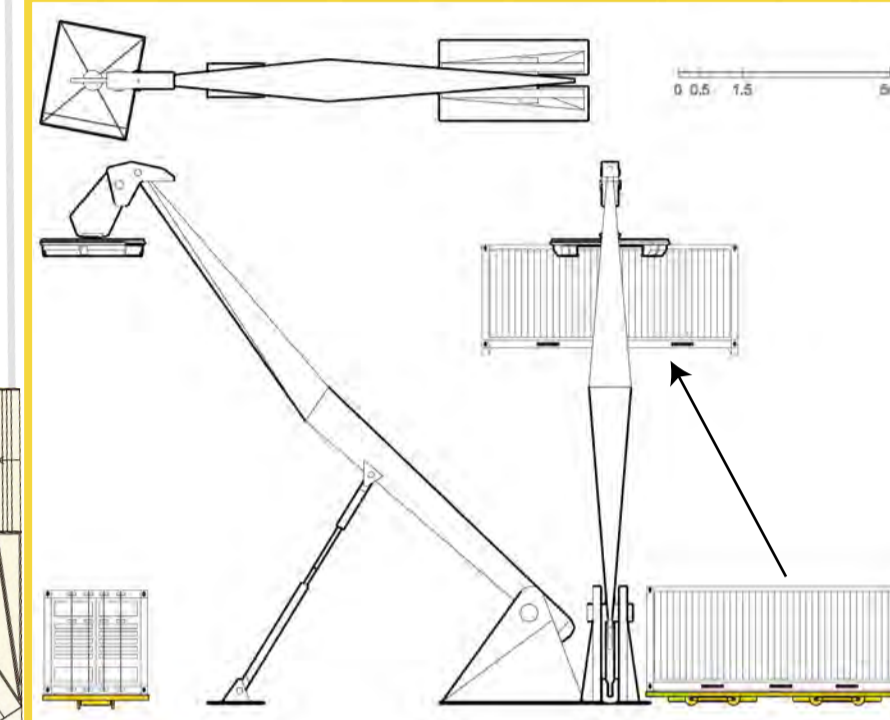
S 港に積まれるコンテナ群



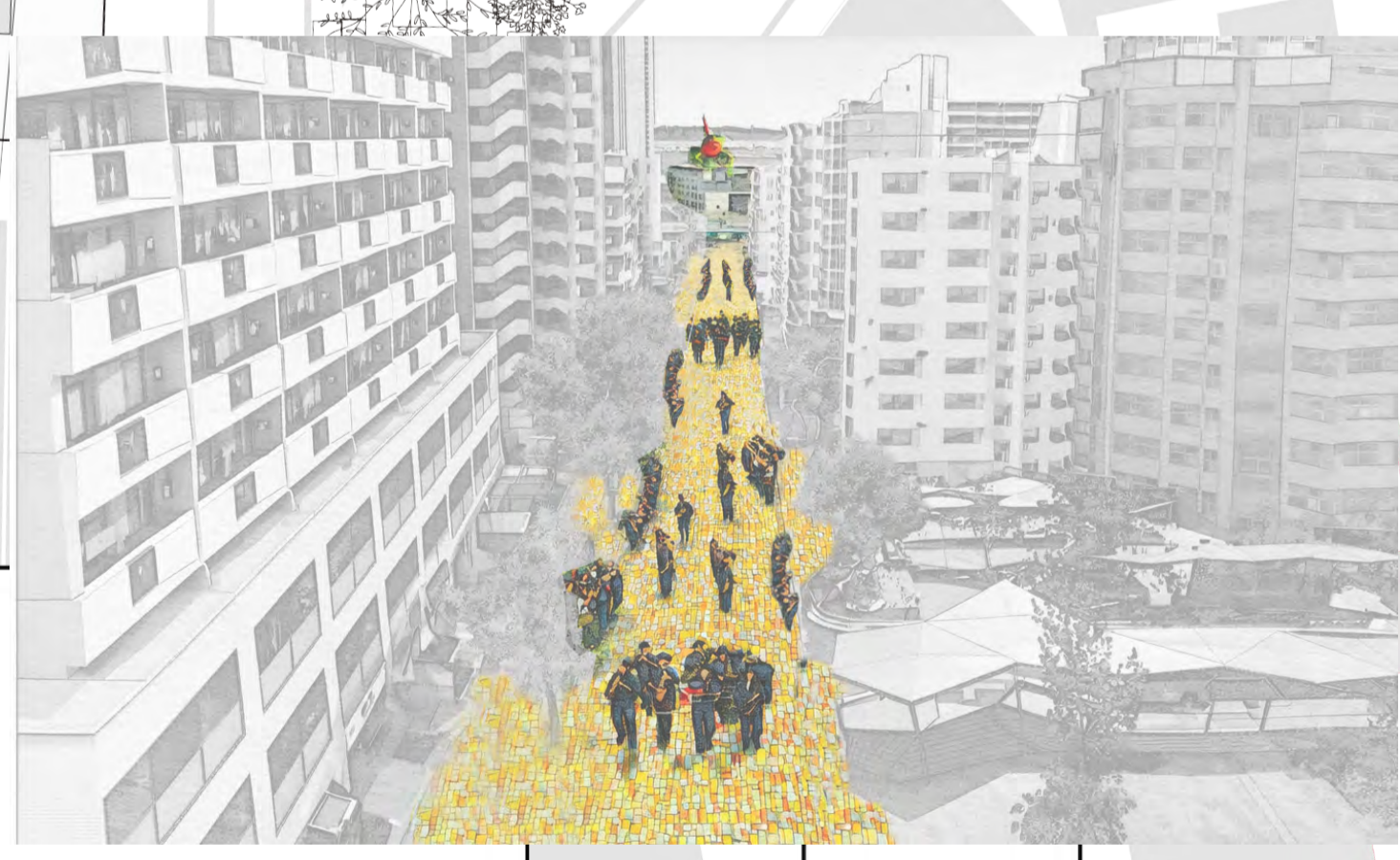
灘駅 コンコース



+Node 岩屋駅



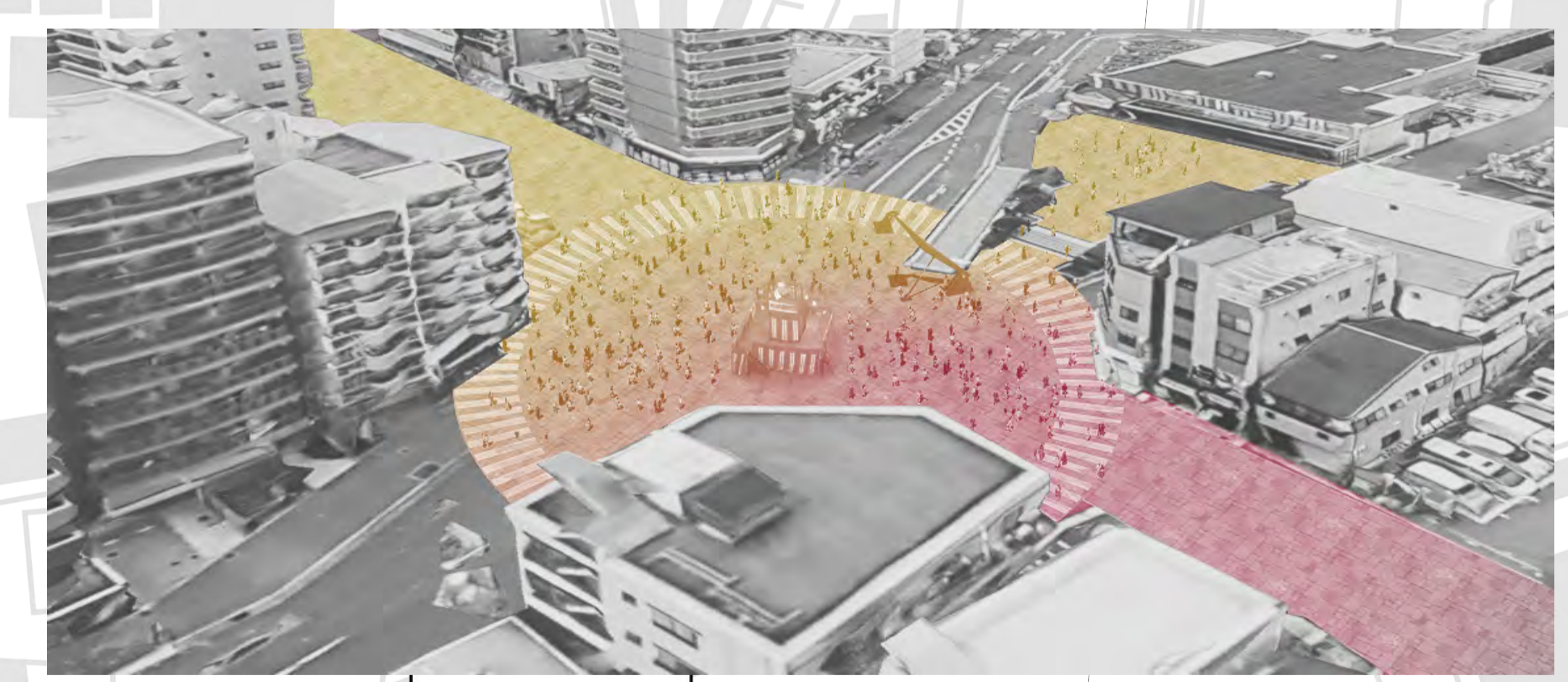
+Node 臨港線跡地



② 10月イベント: 1 DAY JAZZ ROAD



③ 1月イベント: 震災の灯籠ロード 1.17

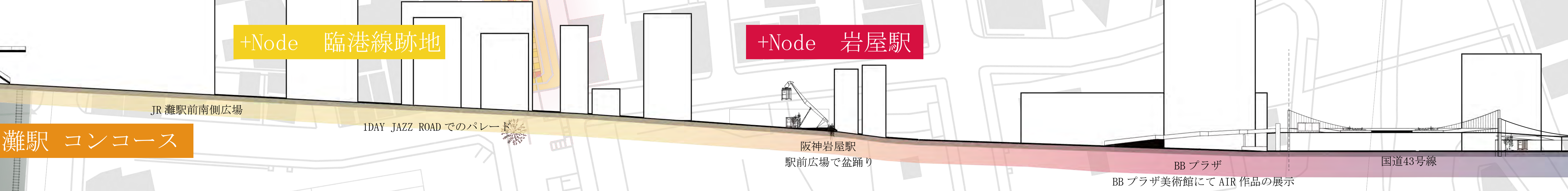


④ 8月イベント: 盆踊り・なつまつり @岩屋駅前

+Node 臨港線跡地

+Node 岩屋駅

灘駅 コンコース



レールの再利用

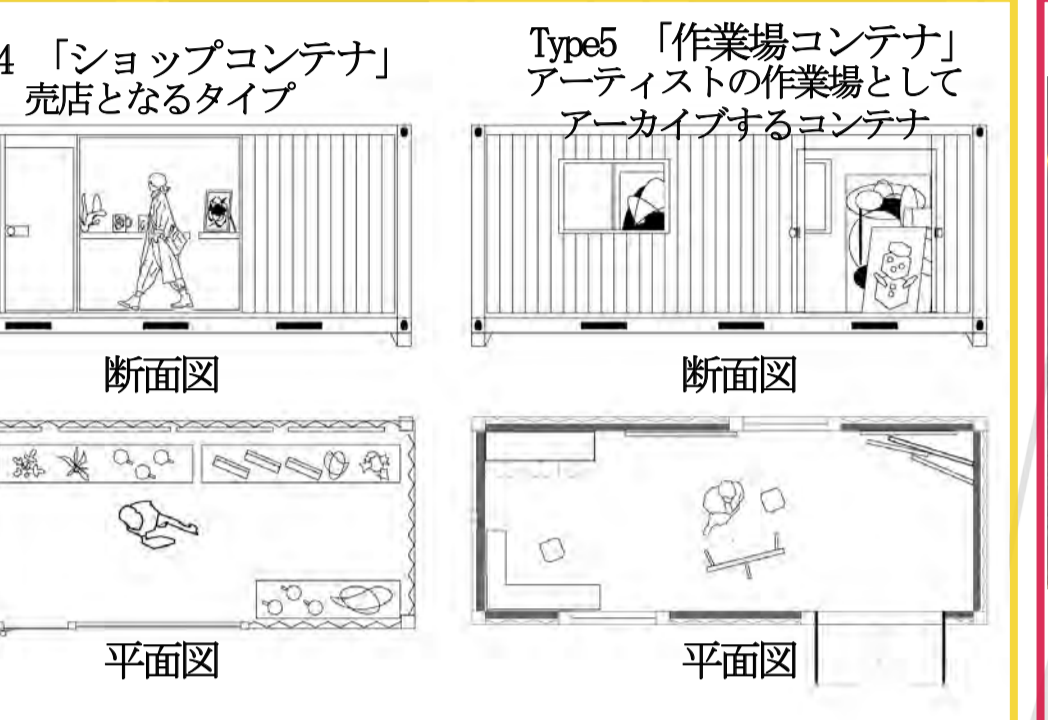


JR・阪神・阪急電鉄にて使われた元鉄道用レールは幅広い用途で再利用されている

舗装パターン

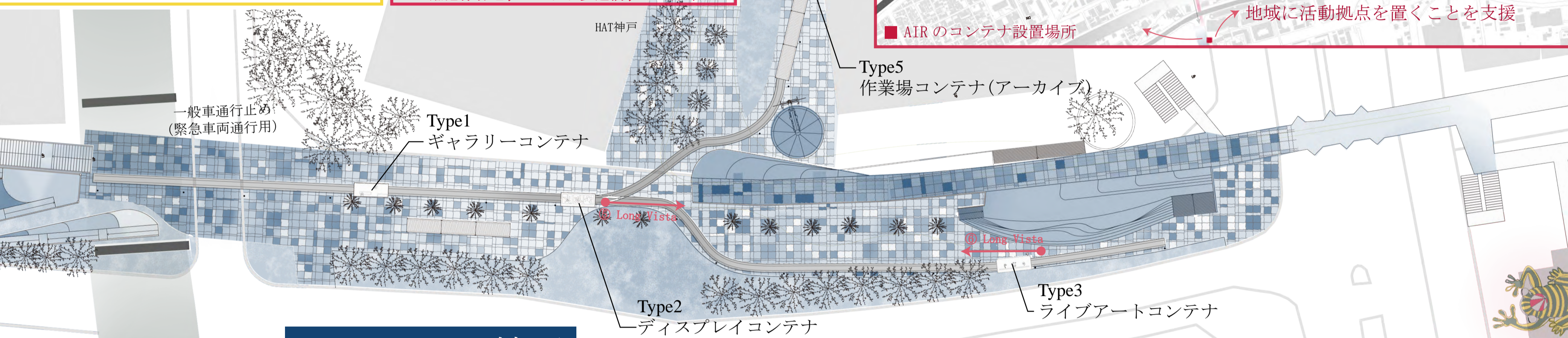


水平線と垂直線で構成される幾何学模様が舗装に施されていた



かつてあったまちの記憶として残るコンテナレール (シェアードスペース、臨港線跡地、BB プラザ歩道橋、HAT 神戸)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
AIRの運営											
AIR卒業式/卒業展覧会+3美術館合同展覧会 (2/25-2/31)											
AIR入居式+MR花見 (4/1)											
春 野外映画祭 (5/2-5, 5/9-11)						秋 野外映画祭 (11/7-9, 11/14-16)					
瀬戸内国際芸術祭 MR (3年毎開催) 4/18-5/25, 8/1-8/31, 10/3-11											
1DAYJAZZ ロード (10/4)											
地域交流の場の提供											
アニマルストリートギャラリー「動物園がMRにはみ出してきた!!」											
食まつりマルシェ (3/8-3/9)						食まつりマルシェ (9/13-9/14)					
六甲ファミリーまつり+だんじり MR 練り歩き (5/3-5/5)						なつまつり@岩屋駅前 (8/14-8/15)					
神戸ミュージアムロードこどもマラソン (12/6)											
防災コミュニティ											
「KOBE スポーツトライアル DAY サマー 王子スタジアム〜感謝の夕べ〜」 (8/9)											
1.17のつどい+震災の灯籠ロード (1/17-18)											
■: 新規企画 ■: 既存/既存拡大 ■: 復活企画											

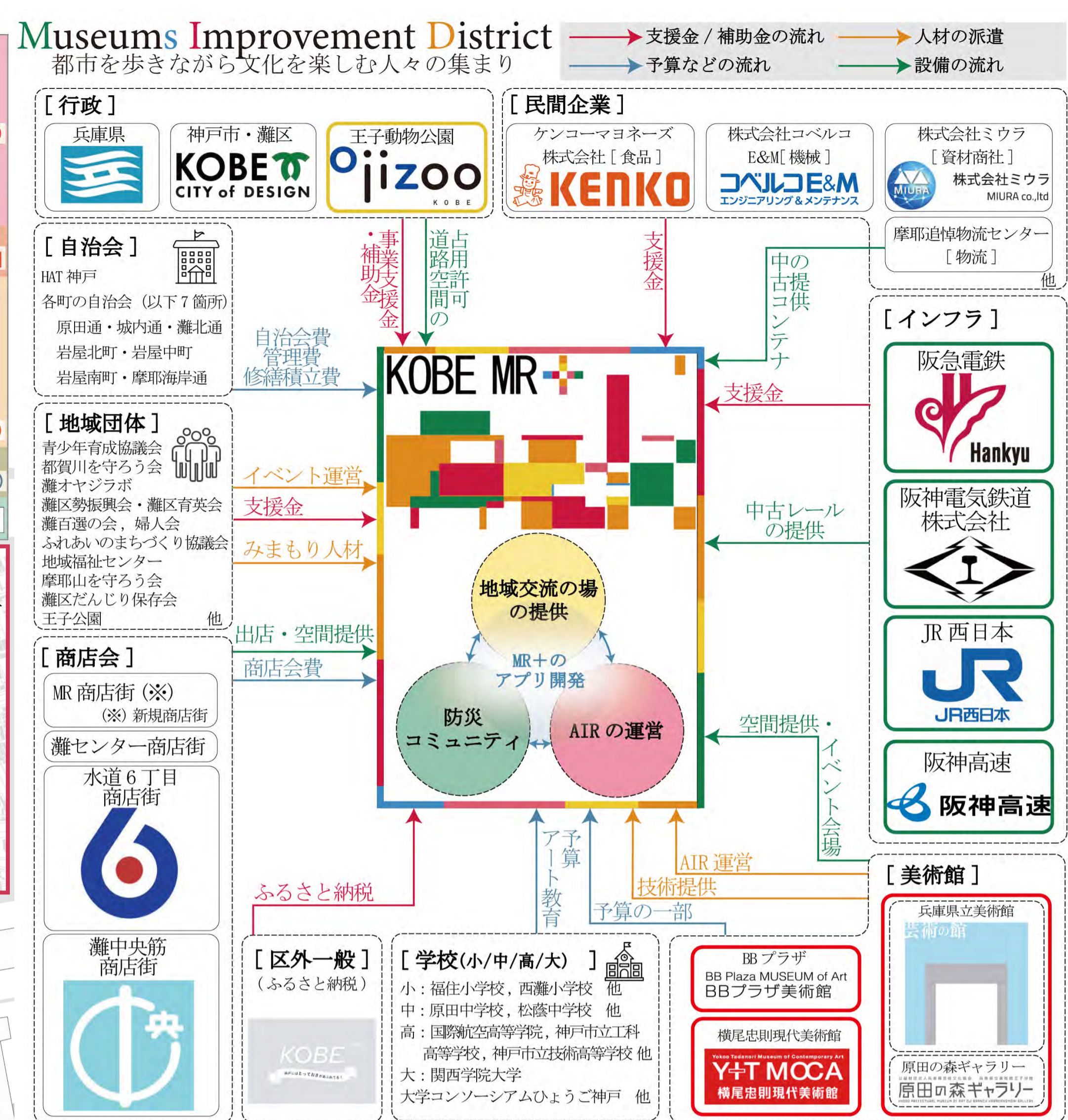


+Node HAT 神戸

+Node HAT 神戸



⑤ 3・9月イベント: 食まつりマルシェ by 商店会



MID (Museums Improvement District)

ミュージアムロード (MR) 及び周辺地域のまちづくりを推進する組織がMIDである。MR+は、兵庫県立美術館・兵庫県立美術館王子分館原田の森ギャラリー、横尾忠則現代美術館、BBプラザ美術館をつなぐ新たなミュージアムアネックスであり、MIDが支援するアーティストインレジデンスと連動し、既存美術館とミュージアムロードが一体となった企画展覧会が適宜開催され、その節目として3年に一度の瀬戸内国際芸術祭へ参加することを目指す。他方、MR+は、アートだけでなく、地域交流の場であり、日々の防災・コミュニティ活動を支える公共空間として役割を果たす都市軸である。ミュージアムロードという都市軸は、阪急・JR・43号線・阪神高速道路で南北に分断されるまちを空間的にも時間的にも繋ぎ直していく。そして、自治会、商店会、PTAなど20世紀にわたって築き上げてきた既存組織が機能低下に陥っている今、MIDは、美術館だけでなく、行政・インフラ・自治会・商店会・地域団体・学校・民間企業が協働し、地域外でありながらふるさと納税を通してMR+へ参画する国内外の個人が加わる新しいまちづくりの手法でもある。



⑥ 鳥瞰 ミュージアムロード